



## 新型コロナウイルス 対策の転換期は

まつお たかひこ  
松尾 孝彦 議員



## 状況に応じた対応をする



**問** 定期接種、医療費の自己負担について。

**答** 令和5年度のコロナワクチン接種は、特例臨時接種を延長し、引き続き自己負担なく受けられるようにすることとなった。本市でも決定した方針に基づき接種体制などを整え、広報やホームページなどで周知していく。医療費は、現在、初診料など一部を自己負担しており、今まで公費負担の対象であった外来や入院での検査や医療費は、5類変更後、原則として通常の保険診療と決定した。ただし、9月末までは高額な治療薬は公費負担とし、入院も高額な場合は軽減措置を実施する。

**問** イベントや外出自粛などの制限について。

**答** 市主催イベントは、市イベント開催に関する基本方針に基づいて、開催の可否を判断している。今後もイベント開催やマスキングの着用などについて、国や県の動向を注視し、状況に応じた対応を行っていく。

### ◎その他の質問

- 一 発達性読み書き障害（ディスレクシア）の対応について
- 二 電線への樹木の接触について
- 三 今後のシティプロモーションについて



## より良い「つるがしま」 を目指して

もちだ やすあき  
持田 靖明 議員



## A 全ての部署が全力で行政の サイクルを回らせていく

**問** 鶴ヶ島に「住んでいて良かった」、鶴ヶ島に「住みたい」と思うまちにするには。

**答** 総合政策部では、鶴ヶ島駅周辺地区のまちづくり構想や市民センターを拠点とした市民を支えるまちづくりを進めていく。総務部では、防災・減災を推進し、市民一人ひとりが安心し

て暮らせるまちづくりを進める。市民生活部では、地域活動や防犯、環境整備、地域ブランドの発信など、活力にあふれ魅力とにぎわいのあるまちを目指す。

福祉部では、地域福祉、障害者福祉、子ども子育て家庭への支援、保育の充実など、安心して暮らせるまちを目指す。



健康部では、妊娠・出産に係る母子への支援や一人ひとりの健康維持など、乳児から高齢者まで全ての方を対象とした、生き生きと暮らせるまちを目指す。都市整備部では、都市基盤の整備と併せて魅力の創出にも取り組み、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを推進する。また、道路の環境整備により、市民の満足度を高め、整備拡充に取り組む。

教育委員会では、新しい時代を生きるための教育の充実や基礎的な力を身に付けるための教育を支援する。